

WAKABA

令和7年5月2日発行 文責：加藤・濱田

特別支援教育は、障害のある幼児児童生徒の自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援するという視点に立ち、幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するため、適切な指導及び必要な支援を行うものです。

インクルーシブ教育システムの構築の基本的な方向性としては、障害のある子どもと障害のない子どもが、できるだけ同じ場で共に学ぶことを目指すべきです。その場合に、それぞれの子どもが、授業内容が分かり学習活動に参加している実感・達成感を持ちながら、充実した時間を過ごしつつ、生きる力を身に付けていけるかどうか、これが最も本質的な視点であり、そのための環境整備が必要です。

本校におけるセンター的機能の発揮は、地域の小中学校等にて、一人でも多くの障害のあるお子さんが通常の学級や特別支援学級で生き生きと学んでいくことができることを目指しております。

センター的機能の発揮の要請を行う際には、まず、校内委員会で検討を行っていただいた上で、本校にセンター的機能の要請をいただくようお願いします。

地域の皆様や教育関係者の皆様とともに、「共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システムの構築」を推進していきたいと考えます。よろしくお願いします。

わかば支援学校 校長 金丸 学



教えて！

わかばちゃん



身体の動きについて

新年度がスタートしましたね。今回のおたよりでは、少しでも支援・指導に役立てられるよう、訪問支援で助言したことの一部を紹介します。

Q. 筆圧が弱い、箸やスプーンを上手に使えない児童生徒に対して、どのようなアプローチをしたらよいか。



まずは体幹を鍛えましょう！

A.こんな支援があります！④



ブランコ遊び

前庭覚が働き、バランス感覚を整える
正中線の発達をうながし、姿勢の安定や、利き手を使うことにつながる！



ひっぱりゲーム

親指・手首の力を高める
つなひきやタオルつなひき、紙ひっぱりゲームなど遊びながら行うと楽しみながらできる。

☆器用さの発達にも順序があります。手指の操作性を高めるためには、まず体幹を鍛えることが大切です。体幹を鍛える→手を使って自分の体を支える経験をする→腕や手を使った遊びから腕、手の可動性を高める→ものを握る活動に取り組み、ものをしっかりつかめるようになる→手先の発達となります。子どもの実態等から、この順序で取り組むことが難しい場合もあると思いますが、この発達の流れを知っていれば、子どものどのあたりに課題があるかわかるかもしれません。訓練的にならず、自立活動や休み時間に楽しみながら取り組めるといいですね。

【参考文献】

- ・木村順『感覚統合をいかし適応力を育てよう3 発達障害の子の指遊び 手遊び 腕遊び』講談社
- ・鴨下賢一/池田千紗/小玉武志/高橋知義『発達が気になる子の脳と体をそだてる感覚あそび』合同出版

*** わかば支援学校のセンター的機能について ***

《対象地域》

荊崎市、南アルプス市、北杜市、甲斐市、
中央市、昭和町

<訪問支援>

☆要請による、支援地域の幼稚園・保育園・こども園・小学校・中学校・高等学校等への訪問。状況により、心理士、ST(言語聴覚士)等、専門家を活用した相談をすることができます。

<教育相談>

☆就学及び進学に係る相談
☆学習面、生活面及び障害特性に応じた教育的支援等に関する支援

<研修支援>

☆特別支援教育に関する研修会の助言等のサポート
☆インクルーシブ教育システムに関する啓発

<学校見学、体験学習>

☆進路選択のための校内の見学、授業の体験
※まずは本校 HP での学校概要紹介の視聴をお願いします(5月中に掲載予定です)。

☆事前に本校へ電話、FAX、メール等でご連絡ください。 ☆電話やメールでのご相談は随時お受けしています。

<訪問支援について>(午前・午後とも観察対象者は2名までとさせていただきます。)

- ・校内委員会で、校内での支援を十分に検討してください。
- ・電話にて訪問支援の要請をしてください。(保護者の同意が必要です。)
- ・専門家帯同の訪問を行うには、本校のコーディネーターが一度訪問し、児童生徒の様子等を見る必要があります。
- ・支援方法の検討をする時間には、可能な限り管理職の同席をお願いしています(複数体制が望ましいです)。

就学・進学に向けて

<義務教育段階(小・中)>

- ◎お住まいの地域の教育委員会とよく相談してください。
- ◎本校の見学だけでなく、居住地域の小学校・中学校も見学した上で、検討されることが望ましいです。
- ◎本校は、学校見学と教育相談を分けて実施しております。

学校見学→6月開始。対象学部を中心とした見学と学部概要説明を行います。

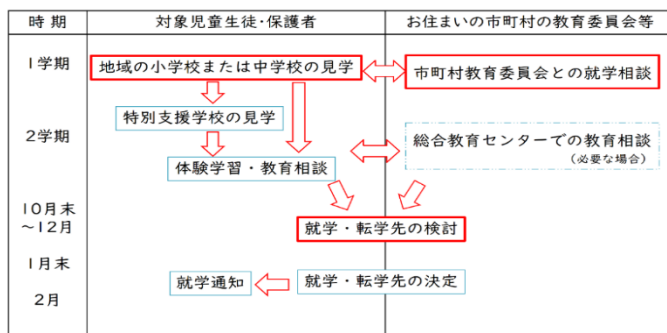
教育相談→9月開始。本校を希望する方、迷われている方は、必ず申し込んでください。お子さんのことを詳しくお聞きます。

<高等部受検>

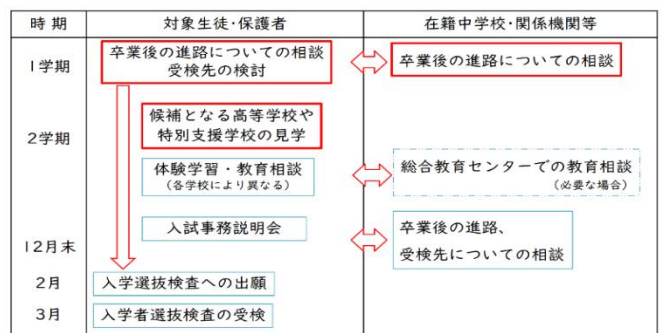
高等部は義務教育ではありませんので、入学者選抜検査があります。進路選択には様々な進路の方向を知ることとともに、本人の希望がとても重要です。1学期中に、HPに「本校高等部の受検を検討している皆様へ」を掲載します。本校の教育相談の流れなども記載してあります。ぜひご覧ください。

本校では、今年度もオープンスクールは実施しません。まずは、本校ホームページや学校概要の紹介動画(5月中に掲載予定)を視聴いただき、学校の様子を知っていただきたいと思います。

【小学校や中学校、支援学校への就学・転学について】



【高等学校・支援学校高等部の受検までの流れ】



山梨県立わかば支援学校

〒400-0226 南アルプス市有野3346-3

TEL:055-285-1750 FAX:055-285-5827

担当:インクル推進部(五味 優紀 鮫田 直子 田中めぐみ 近藤 瞳)

【URL】 <http://www.wakabay.kai.ed.jp/>

【E-Mail】 wakaba-yg@kai.ed.jp

受付時間 月・火・水・木 9:30~16:30

